

# 軟磁性微粒子材料の開発と プロセス直結型交流損失モデルの構築

対象者： 軟磁性材料および磁気受動素子開発に携わるエンジニア・  
製造プロセス条件の最適化に興味のある方

講師

遠藤 恭

(東北大学 大学院工学研究科  
先端スピントロニクス研究開発  
センター 教授)

講師

室賀 翔

(東北大学 大学院工学研究科  
准教授)

2026.1.20 [Tue] 14:00 - 15:00

オンライン開催(Zoom事前登録制)

パワーエレクトロニクスの進展に伴い、変圧器やインダクタなどの受動素子の低損失化が強く求められています。我々のグループでは、次世代受動素子用の新規軟磁性材料として、サブミクロン微粒子や磁性薄帯等を開発しつつ、その開発を加速するためのデータ駆動型学習を活用した素子や材料のサロゲートモデル化に取り組んでいます。本講演では、これら材料開発の最前線の状況と、試作プロセスを最適化するための磁心の損失予測モデル構築の例について紹介します。

開催方法：Zoomを利用したオンライン形式による開催

※ご参加には事前登録が必要です。

右のQRコードもしくは下記のリンクからご登録下さい。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_Go41BZrFSqWWfY5p0GbTDg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Go41BZrFSqWWfY5p0GbTDg)



セミナーURL <https://dxmt.mext.go.jp/news/3853> (DxMTポータルサイト)

主催・お問い合わせ先：DxMTデータ連携部会運営室 (dxmt\_office@ml.nims.go.jp)